##### **第48回バトントワーリング東海支部大会**

**審査規定**

**１．審査内容**

　　　１）選手権６種目は、全日本バトントワーリング選手権大会審査内容に準ずる。

　　　　　選手権Ｂも同様、但し技の制限は以下の通りとする。

　　　　　・全種目ともエーリアルは3スピン・シングルのジムナステｲックム-ブメント迄で、レセプションの種類は

自由。

　　　　　　　　・3スピンやシングルのジムナスティックムーブメントに1ムーブメントを付けることは不可。

（例えばキック＋イリュージョンなど）

　　　　　　　　・ロール・コンタクトマテリアルは無制限。

　　　２）フリースタイル種目は、第35回世界バトントワーリング選手権大会日本代表選考会審査内容に準ずる。

**２．審査員は次の通りとする。**

１）審査員は次の通りとする。

①選手権６種目は日本バトン協会公認審査員が行う。

②フリースタイル種目はWBTF公認審査員が行う。

２）審査員長・審査副員長

①審査委員長 1 名、副審査委員長 1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

３）審査員・ペナルティ審査員

①審査員は３～５名とする。

②選手権A ６種目のペナルティ審査員は、1名とする。

##### **３．順位の決定は次の通りとする。**

【**選手権Bの部**】

　　　　　①審査員3名により10点法(少数点第２位）で採点を行う。

②準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

　　　　　③準々決勝、準決勝を単一コートで行う場合は、点数を席次に換算する。席次点合計の低い方を上位とする。

　　　　　④選手権（Ｂ）の決勝順位は点数を席次に換算する。席次点合計の低い方を同位とする。

　　　　　⑤同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。

優先順１　点数合計の高い方を上位とする。

優先順２　さらに同位の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合のみ

審査員３人の投票により決定する。

【**選手権Aの部**】

1. 審査員3名～5名により10点法（小数点第２位）で採点を行う。

②準々決勝は審査員３名とペナルティ審査員1名で行う。

各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。

席次点合計の低い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

③準決勝及び決勝は審査員3名～5名で行う。

各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。

④審査員の人数により順位の決定は以下のように行う。

**・審査員が３名の場合**

ア）全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。

イ）準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

ウ）決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。

優先順１　ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。

優先順２　さらに同位の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合のみ

審査員３人の投票により決定する。

　　　　　**・審査員が５名の場合**

ア）換算した席次点の最上位・最下位を除いた合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

イ）準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。

ウ）決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。

優先順１　審査員全員の席次点合計の低い方を上位とする。

優先順２　ペナルティ減点後の全審査員の最高点・最低点を除いた点数合計の高い方を

上位とする。

優先順３　ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。

　　優先順４　さらに同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合は、

５名の審査員の投票により決定する。

**【フリースタイル個人・チーム】**

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

① 個人は１０点法（小数点第２位まで）、チームは１００点法（小数点第１位まで）により採点し、得点とする。

② 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

③ 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。

優先順 １ 各審査員の得点より、席次を算出し全審査員の席次合計の低い方を上位とする。

優先順 ２ 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。

優先順 ３ 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。

優先順４　さらに、同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。１位が同位の場合は５名の審査員の投票により決定する。